

第 1 回 呉市 移動円滑化基本構想検討協議会 摘録

- 1 日 時 令和 3 年 1 1 月 3 0 日 (火) 1 0 時 ~ 1 1 時 1 0 分
 2 場 所 呉市役所本庁舎 2 0 2, 2 0 3 会議室
 3 概 要・骨 子

10:00 【開会】	
【市長挨拶】	<p>皆様，おはようございます。呉市長の新原でございます。</p> <p>皆様には，呉市にとって非常に重要な協議会の委員をお引き受けいただき，また，本日はご出席いただきまして，誠にありがとうございます。</p> <p>また，傍聴席の皆様，当協議会に関心を持って傍聴いただき，お礼申し上げます。</p> <p>当協議会は，呉市を，高齢者，障害者等の方をはじめ，どなたにとっても移動しやすいまちにしていくという目的のため設置したものでございますが，皆様に委員をお願いいたしましたのは，この目的のため，ぜひともご意見をいただきたい方々であることからでございます。</p> <p>この機会に，皆様がバリアフリーに関して思っておられることを積極的にご発言いただき，当協議会の目的のため貢献いただきますよう，そして呉市を良いまちにさせていただきますよう，お願いいたしましてご挨拶といたします。</p> <p>どうぞ，呉市移動等円滑化促進方針及び基本構想の完成まで，よろしくお願いいたします。</p>
【委員紹介】	資料 1 呉市移動円滑化基本構想検討協議会構成員名簿
【要綱説明】	資料 2 呉市移動円滑化基本構想検討協議会開催要綱
【座長及び副座長の選任】	互選により，座長に 神田 佑亮 構成員を選出 座長の指名により，副座長に 鈴木 孝雄 構成員を選出
10:15 【議題説明】	<p>(1) 移動等円滑化促進方針及び移動等円滑化基本構想の概要</p> <p>(2) 呉市の現況</p> <p>(3) 現行の移動円滑化基本構想の概要と実施状況</p> <p>(4) 移動等円滑化促進方針の作成方針と移動等円滑化基本構想の改定方針</p>

10:30

【意見交換】

〔神田座長〕

事務局からの説明をもとに、議論を進めていきたい。

計画の内容についての意見や質問だけでなく、普段の生活の中でバリアフリーについて感じていることなども議論のきっかけにしていきたい。

○呉市のバリアフリー化は進んできていると感じるが、エレベーターの扉が狭くて利用しにくいことがあるという声をよく聞く。多胎児の子連れの方は大型のベビーカーに双子を乗せて移動しており、エレベーターがあっても扉が狭くて不便に感じることがあるようだ。

また、駅も階段が多く、エレベーターでないと移動しにくいと感じているとのこと。

⇒〔神田座長〕

最近では双子や歳の近いお子さん2人を乗せたベビーカーをよく見かける。バリアフリーは当初の思想では車椅子での移動を基準にしていたが、今後は障害者だけでなく、子育てなどの視点も取り入れていくものと考えている。

駅はエレベーター、エスカレーターがあっても、あとちょっとの段差が解消されていないということがあったりする。このように普段の生活の中で感じる不便さなど、感じたことをこの場で共有していただきたい。

○障害者の中では、視覚の不自由な方が一番移動に困っていると思われる。例えば、呉駅から市役所まで移動するのに困ることがあると聞く。

東京では駅から他の施設に移動するのに視覚障害者用誘導ブロックが非常に充実している。同様に整備されると、移動がしやすいと聞いたことがある。

⇒〔神田座長〕

人の流れに沿って視覚障害者用誘導ブロック等で導かれるようになっていくことは非常に重要である。すでに整備されているものも含めて点検が必要ではないかと思う。また、視覚障害者用誘導ブロックに加え、情報案内の充実を図ることも必要と思う。

○最近は横断歩道上に、エスコートゾーンという点字ブロックが設置されるようになり、視覚障害者の移動を助けるのに有効だと思う。利用者の多いところでエスコートゾーンの設置を検討していただけると、移動がスムーズになるのではないかと思う。

⇒〔神田座長〕

来てくださる方がスムーズ歩いて移動できるよう、いかにエスコートできるか、配置についても検討が必要である。

また、横断歩道について言えば、音響式信号機も呉市では少なく、これからの課題であると思う。

○令和2年の法改正では、「心のバリアフリー」というキーワードがある。これに関連することとして、道路管理者として市民の皆様から道路利用のマナーの問題について意見を伺うことが多い。例えば、誘導ブロックの上に自転車を停めたり、物を置いたりといった問題について意見が寄せられる。障害者の方や子育てをされる方などに対する想像力を働かせて、道路を使っていただくための取り組みをしっかりと進めていきたい。

⇒〔神田座長〕

道路整備はタイミングや予算の都合があり、すぐ着手できないこともある。一方で、困っている人がいるという事実もある。そうした中で、市民の協力も得ながら、心のバリアフリー、思いやりで対応していくことも必要である。

20年前に比べ、より柔軟な対応が求められる状況で、思いやりという視点は重要になっている。この先20年に向けても心のバリアフリーは必要であり、取り込んでいくものと考える。

○様々な意見が出ているが、今回は心のバリアフリーについてもまとめていくということである。

エレベーター、エスカレーター、施設の広さなどハードの問題は取り組むのが難しい。これらの扱いをどうするかは今後考えていくべきものと思う。また、車椅子の方向けのトイレの整備も不十分で、洋式化も進んでいないトイレもある。

今回は吉浦を重点整備地区の候補としているが、皆さんでまち歩きをして現状を知ること、議論を活性化していきたい。

⇒〔神田座長〕

多目的トイレ等がほしい場所にあるかのチェックも必要と考える。どの施設にあるというよりは、エリア内にあるかどうかという視点を大事にしていくべきと思う。

一緒に吉浦を歩いて意見を伺い、吉浦と、また他の地域にもその意見をフィードバックしていきたいと思う。

○バスのバリアフリー化の取り組みとして、ノンステップバスやワンステップバス等の導入がある。新型コロナウイルスによる影響で予算面も厳しく、一度にすべての車両に導入は難しいが、着実に進めている。

また、バスの接近情報システム「くるけん」でノンステップバス等の位置情報の発信をしているので、しっかり活用いただきたい。

バス停も歩道から楽に乗れるよう、バスを歩道に接近させて停めるのが理想だが、自家用車やタクシー等がバス停周辺に停車していると、バスが歩道に正着できないことがある。周知等により、正着できるよう努力していきたい。

心のバリアフリーとしては、接遇や乗り降りのフォローなどに取り組んでいるところである。

⇒〔神田座長〕

情報の使い方も20年前から発展してきた。特に、スマートフォンの普及により情報が移動中に手に入るようになったことが大きな変化である。今後もバリアフリーにおける情報の活用法について考える必要がある。

また、一般車がバリアとなることもあるとのこと、市民としても気をつけていきたい。心のバリアフリーに関連することとして重要な点と思う。

○JRは要望を受けることが多いが、たくさんの駅がありすぐにすべてを対応していくことがなかなか難しい状況であることをご理解いただきたい。

バリアフリーも重要と考えているが、近年は災害が多く、災害復旧が第一優先となっている状況である。

	<p>広島支社管轄内では、1日の平均利用者数5,000人以上でもバリアフリー化が不十分な駅もあるが、皆様のご期待に添えるよう整備を進めていきたいと考えている。</p> <p>⇒〔神田座長〕</p> <p>ハード整備を伴うものはすぐには取り組めない状況があるが、いかに進めていくかを考えていくことが必要。</p> <p>○警察では交通管理者としてエスコートゾーンの新設を進めている。エスコートゾーンは交通管理者でも道路管理者でも設置が可能である。今年も本通に一箇所、新設したところである。毎年一箇所ずつ設置したいと考えているが、耐久性に難があり、なかなか進んでいない状況である。本当に必要なところを厳選して、限られた予算の中で設置を進めていきたいと考えている。</p> <p>⇒〔神田座長〕</p> <p>予算制約もあると思うが、交通管理者と道路管理者で組織を超えて円滑に連携し、できるだけ早く整備を進めていただきたい。</p> <p>先ほど災害の話が出たが、西日本豪雨災害の際、JRの代行バスとして全国から観光バスが応援に来ていた。出入口にステップのあるバスだったが、ドライバーが手を添えて乗降をサポートしているところを見かけた。バリアフリーを進める上では、交通に関わる方々の理解も欠かせない視点になると思っている。</p> <p>今回は第1回ということで、法令や現行の基本構想の説明等だったが、今後、促進方針及び基本構想を作成して行くにあたり、この協議会での議論やまち歩きでの現場確認等でご意見等をいただきながら、良い計画を作成できればと思っている。</p>
<p>11:00 【その他】</p>	<p>資料7 今後のスケジュール 資料8 まち歩きについて</p>
<p>【その他の意見】</p>	<p>〔神田座長〕</p> <p>この度の促進方針及び基本構想の作成にあたり、法律との整合を確認しながら進める必要がある。</p>

	<p>そこで、次回以降の協議会に、バリアフリー法を所管する国土交通省中国運輸局に参加いただき、法令関係の意見をいただきながら進めていきたいと思うが、よろしいか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>では、次回、国土交通省中国運輸局からの参加をお願いすることとする。</p>
<p>11:05 【副市長挨拶】</p>	<p>呉市副市長の江田でございます。</p> <p>本日はお忙しい中ご参画いただき、誠にありがとうございます。また、貴重な意見を賜りありがとうございました。</p> <p>呉市では基本構想を20年前に作成しましたが、この間、高齢化や子育て支援、障害者の方の社会参画等、様々な視点において、バリアフリー化の推進が求められてきました。そういった中、法律や国の方針の改正も行われたこともあり、この度の促進方針の作成及び基本構想の改定を進めていくものでございます。</p> <p>また、この度は施設整備だけではなく心のバリアフリーについても求められています。こういった観点を含め、今後1年あまり取り組んでまいりますので引き続き、よろしくお願いいたします。</p>
<p>11:10 【閉会】</p>	